

令和2年度第19回士別市新型コロナウイルス感染症対策本部会議

日時：令和2年11月10日

午前8:35～8:50

会場：庁議・来賓室

出席者 牧野市長、相山副市長、中峰教育長
中館総務部長、法邑市民自治部長、田中健康福祉部長、井出経済部長、千葉建設水道部長、
鴻野生涯学習部長、三好副院長、士別地方消防事務組合柳消防長 青木総務課長
庶務 保健福祉センター 松ヶ平・川原

協議事項

1. 北海道の「警戒ステージ3」への移行に伴う各施設の取り扱いについて

(1) 学校

「学校の新しい生活様式 ver.4」におけるレベル1からレベル2への移行

- ・ 18回会議で学校においてはレベル1で変更なしとしていた。近隣はレベル2、富良野市は今日からレベル2になる。現状では、士別市もレベル2に引き上げたいと考える。

レベル1→2で大きく変わる点

- ①児童生徒発熱した場合出席停止にしていたが、レベル2になると同居家族が発熱した場合も出席停止とする。
- ②合唱や体が接触する授業は原則行わない。

①について

- ・ 同居家族が発熱し、その後陽性となり、濃厚接触者として検査し陽性がわかった事例があった。
- ・ 家族の状況も37.5度程度の発熱があり、コロナが疑われる状況の場合。
- ・ 検査で陰性なら出席可能。
- ・ 検査希望者が増えることが考えられるが、検査は症状があり医師の判断の上行われる。これまでと同様、症状がある場合は主治医、主治医がない場合は道の相談センターに電話をし相談をしてもらう。
- ・ 解熱剤を使用しないで翌日熱が出なければ次の日から出勤可能となっている。
- ・ 士別市の対応としては病院への受診勧奨まではしない。家族の判断。

②について

- ・ 原則やらない方向だが、状況を見ながら各学校進めていく。

換気の方法について

- ・ 道教委からは30分に1回、2方向の換気が示されているが、45分・50分授業の中での運用になるため、例えば北大 林先生の示している2段階換気等、他の方法も検討中。
- ・ 林先生と連絡を取ることができ、情報をいただいております。学校の換気について、道総研でマニユ

アルを作成中とのこと。今は案の段階で、士別市に情報提供可能かを確認いただいている。今週13日に校長会で周知できるように進めている。

- ・ 報道等で、北海道で感染者が増加しているのは寒さで換気が減っていることが原因の1つと言われている。
- ・ 今は30分に1回 5分程度の換気を基本に対応せざるをえない。そのように取り扱う。

【協議結果】

- ・ 明日11/11からレベル2とする。
- ・ 換気は現行では30分に1回 5分程度の換気を基本に取り扱う。
- ・

(2) 児童福祉施設

- ・ 児童福祉施設も学校と同様の扱いとする。

(3) その他施設

- ・ 市役所職員について。本人が発熱なくても家族が発熱した場合は職務専念義務免除での取扱いとしている。コロナを疑う場合についての対応になるため、主治医もしくは道の相談センターに相談することを必須とする。
- ・ 濃厚接触者になり、PCR検査が必要な場合は義務免除扱いとなる。

2. その他